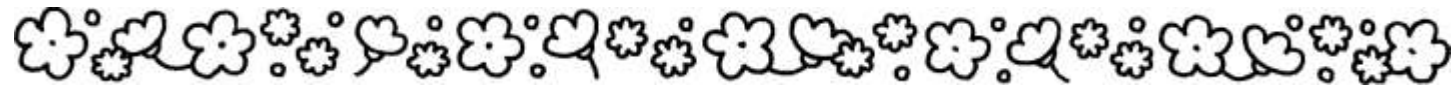




園庭の桜が咲き始め、春の訪れを感じる今日この頃。プランターに咲いている花を「可愛いね〜」「ちょうちょみたい」と嬉しそうに眺める姿が見られました。



暖かく天気の良い日が増え、たくさん園庭に出て遊びました。サッカーボールを蹴って進んだり、クライミングやロープの橋を上ったり、これまで出来なかったことが出来るようになって楽しんでいる姿に成長を感じます。また、砂場では砂をすくってカップに入れるだけでなく、石や松ぼっくりなどを上に載せてケーキに見立てたりして遊びが広がってきています。

スモックのボタンやパジャマへの着替えなど、身の回りのことに更に興味をもち、保育教諭の手伝いを拒んで自分でやろうとする姿が増えてきました。そんな子どもたちの気持ちを尊重し、助けを求めるまでは見守りました。自分で出来た達成感を味わい、「できたよ〜」と満足そうに見せてくれたり、ハイタッチをして一緒に喜ぶと嬉しそうな姿が見られます。今は靴を自分で履けるよう少しずつ頑張っています。

交流給食があり、うさぎ組のお部屋で給食を食べました。いつもとは違う環境、いつもより大きい机と椅子に緊張してあまり進まない子もいましたが、部屋を見渡して目に入った物を教えてくれたり、うさぎ組にしかない玩具に大喜びでした。

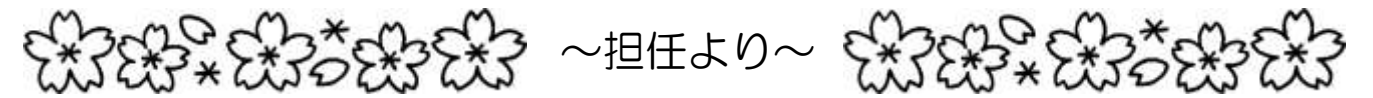
○エピソード○

トイレに行った後、手を洗おうとしたAちゃん。しかし、蛇口をひねることが難しく「先生して」と助けを求めました。その時近くにいたBちゃんが

Bちゃん (蛇口を指差して)「これ? するの?」
 Aちゃん 「うん」
 Bちゃん (蛇口をひねる) 「はい! できたよ」
 Aちゃん 「ありがとう」
 Bちゃん 「いいよ〜」



☆Aちゃんが困っていることに気が付き、声をかけてあげたBちゃん。助けてもらったことに対してありがとうと感謝が出来るAちゃん。子ども同士でやりとりをし、助け合う姿にお姉さんになったなと感じた場面でした。

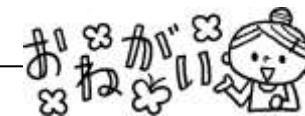


大きなスモックに袖を通し、りす組での生活が始まってから早くも1年が経ちました。初めは大好きなお父さんお母さんと離れる寂しさや、慣れない環境にたくさん涙が出ていましたね。そんな子どもたちも今ではお友達が泣いていたら頭を撫でて慰めたり、子ども同士で声をかけ合ったりするようになりました。また、トイレに座るようになったり、自分でお着替えをしたり、自分から「おはよう」「ごちそうさま」などと挨拶をしたり、自分で出来ることがたくさん増え、とってお兄さんお姉さんになりました。これからも、元気いっぱい大きく成長していく姿を楽しみにしています。

最後になりましたが、保護者の皆様には今日まで温かく見守って頂き、至らない点もあったかと思いますが、日々の保育へのご理解やご協力を頂きまして、本当にありがとうございました。一人一人のペースで成長してきたこの1年。たくさんの成長を保護者の皆様と共に近くで見守ることができ、とても嬉しかったです。

1年間、ありがとうございました。

りす組担任 福原愛加 塚本直斗



4月からは、うさぎ組(2歳児)になります。
 ・持ち物は今と変わりませんが、この機会に持ち物の名前が消えていないか、確認をお願い致します。
 ・連絡ノートは引き続き今のノートを使用しますので、続きのページから記入をお願いします。
 ・新年度の用品(クレヨン、粘土、粘土板、粘土ペラ、粘土箱、自由画帳)は1つ1つに名前を書いて頂き、5日(月)に持って来て下さい。



1年間りす組で一緒に過ごしたお友達
 ・あかまつ ひまりちゃん
 ・もりた じんくん
 が退園します。

寂しいですがまた会える日を楽しみにしています。